

## 青少年交換クリスマスパーティー 報告

青少年交換委員会 委員長 **山本 喬一**  
(大阪天満橋RC)

2014年12月13日(土)、泉ガバナーと岡部パストガバナーにも参加いただき、シティプラザ大阪にて青少年交換プログラムの年末恒例行事としてクリスマスパーティーを開催しました。

来日生10名と次年度派遣予定の派遣候補生5名が主役で、パーティーの企画と進行は青少年交換学友(ROTEX)のメンバーが担当しました。パーティーにはホストクラブのロータリアンや来日生のホストファミリー、学校関係者、また派遣候補生の家族など87名が参加しました。

来日生は、8月に日本に来て約4ヶ月を過ごし、日本の生活に慣れてきたところです。1人ずつが壇上にあがり「母国のクリスマスと日本のクリスマスの違い」を日本語で紹介してくれました。多くの来日生は、母国でクリスマスは宗教的かつ家族で過ごすのに対し日本のクリスマスはカップルのためやイベントのためなどと本来の姿から離れているように感じると指摘していました。

またフィンランドの来日生はサンタクロースの村があるロバニエミから来ていること、ブラジルからの来日生は日本とは違う真夏のクリスマスとなることなど、それぞれのクリスマスを紹介してくれました。来日当初はたどたどしかった日本語もこの4ヶ月でかなり

上達していて、関係者を驚かせていました。

10月に2015-16年度の派遣候補生となった5名は、英語で自己紹介や近況のエピソードを紹介しました。毎月のオリエンテーションでスピーチの練習をはじめてまだ初期の段階ですが、それぞれ上手く出来ました。このようなパーティーで多くの人の前で話す機会が多い海外生活に対応できるように、スピーチの場を設けるのも委員会の役目と考えています。候補生は派遣までの期間このようにスピーチ経験を多く積んで派遣に備えます。

また、青少年交換事業の関係者が集まるパーティーではホストファミリーやロータリアンが情報を交換したり、日頃の問題点の有無を確認したりする良い機会としても活用しています。来日生の様子など直接接している方からの情報はこの事業では欠かすことの出来ないものです。候補生やその家族の方は、派遣先の情報を来日生から聞くことができ、派遣の経験者であるROTEXメンバーから聞くことも出来る良い機会として利用いただいています。

パーティーではそれぞれが持ち寄ったクリスマスプレゼントをビンゴゲームで1人ずつもらい、最後に「手に手をつないで」を歌い、後半の健康で充実した交換生活を祈念して散会しました。

